

一九八八年八月二十五日
発行



第71巻 第5号 史学・地理学・考古学

論 説

- 古典期アテネのフラトリア……………伊藤貞夫 (1)
—IG II² 1237 の場合—
- 清代前期の平糶政策……………山本進 (38)
—採買・倉儲政策の推移—
- 全関西婦人連合会の構造と特質……………藤目ゆき (71)
- 政権参加期フランス共産党の植民地構想……………杉本淑彦 (101)

書 評

- ジョフロワ・ド・ヴィルアルドゥワン著
伊藤敏樹訳・註 『コンスタンチノーブル征服記』……………八塚春児 (136)

紹 介

- 半一之編著『青海民族史入門』(若松寛)
- 新宿区教育委員会編『新宿区地図集—地図で見る新宿区の移り変わり—』・『地図で見る新宿区の移り変わり』(内田忠賢)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

田アジオ「高田富士と落合の火葬場——江戸の周縁としての戸塚・落合——」（戸塚・落合編）、北原進「市谷薬王寺と門前町の成立」（牛込編）、西沢爽「はやり唄と新宿」（四谷編）などである。

次に索引編には詳細な五十音索引・町区域索引が作成・所収されている。五十音索引は、各地図に表記される項目すべてを五十音順に整理し、分類項目（例、武家屋敷、町人拝借地）・町区域・年代・収録箇所・参照項目を列記する。町区域索引は、五十音索引項目を一五三の町区域ごとに分け、時代別・土地利用別に編成する。いずれも編者の労が生きていると思われる。

また、この索引編にも解説が付されている。すなわち「索引から見た新宿区」（近世・近代）論文二編、及び「町とくらし」に関するエッセイ九編である。

以上、概略を紹介した。最後に本成果の意義を三点指摘しておく。

- 第一に、急激な変貌を遂げる大都市江戸・東京の過去の景観を記録した点である。とりわけ副都心として景観変化の著しい新宿区において本成果が得られたことは重要である。

第二に、小地域単位（牛込、四谷など）で年代順に絵図・地図を並べることにより、景観変遷が一目瞭然となった点である。すなわち詳細な土地利用の変化が看取される。

第三に、絵図・地図が地域を考える際、重要であると認識させた点である。近年、市町村史でも、この傾向が指摘できる。

いずれにせよ本成果は、歴史学・地理学などの研究だけでなく、都市計画や郷土学習などにも貴重な労作である。

『新宿区地図集』一九七九年三月 特別頒布価格一三〇〇円 『地図で見る新宿区の移り変わり』全五冊 一九八二年三月
一九八七年八月 いずれもA4判
（内田忠賢 京都大学大学院生）

受贈 図 書

（一九八六年十一月十七日）
一九八七年七月一日）

鹿児島経大論集 二七—三、二八一—
アメリカ史評論（関西アメリカ史研究会）

四、五

駿台史学（駿台史学会） 六八
国際文化論集（西南学院大学学術研究所）
一一—

歴史学と歴史教育（近畿大学） 三二—

人文学科論集（鹿児島大学法文学部） 二

四、二五

一橋研究（一橋大学大学院） 一一—二、
三、四

韓国史研究叢報（ソウル国史編纂委員会）

五四

神道史研究（八坂神社神道史学会） 三三—

一四、三四—四

史学科報告（鹿児島大学教養部） 三三—
ミロ斗（朝鮮社会科学学院図書館） 一〇

大津市史（大津市役所市史編纂室） 九

文明（東海大学文明研究所） 四八

古代史研究（立教大学古代史研究会） 五

史朋（史朋同人） 二三

神道古典研究会報（神道大系編纂会） 八

紀尾井史学（上智大学大学院史学専攻院生会） 六

三

三康文化研究所所報 二—

湘南史学（東海大学大学院日本史学友会）

七・八合併号

経済論究（九州大学大学院経済学会） 六

六

富士論叢（富士短期大学学術研究会） 三

一一—二

産業社会論集（立命館大学産業社会学部）

二二一三

奈良国立文化財研究所史料 第二九冊

東京商船大学研究報告 三七

奈良史学(奈良大学史学会) 四

民族研究(北京民族研究編輯部) 二、六

総合研究所報(福岡大学) 八九、九六

神道学(出雲大社神道学会) 一三二

忠敬堂古地図目録 二六

東京学芸大学紀要 三八

西洋史論叢(早稲田大学西洋史研究会)

八

南方文化(天理南方文化研究会) 一三

福岡大学人文論叢 一八一三

山口大学文学会志 三七

岩手史学研究(岩手大学教育学部岩手史学会) 七〇

七〇

龍谷大学論集(龍谷学会) 四二九

東京工業大学人文論叢 一二

日本研究(釜山大学校日本問題研究所)

五

經濟論集(서울大学校經濟研究所) 二五

一四

Economic Review(서울大学校經濟研究所) 二〇

文化学年報(同志社大学文化学会) 三六

人文学(同志社大学人文学会) 一四三、一四四

札幌大学教養部紀要 二九及び分冊

岡山市立オリエント美術館研究紀要 六

福島大学教育学部論集 四〇

一橋研究(一橋大学) 一一四、一二一

一

アジア研究所紀要(亜細亜大学アジア研究所) 一三

人文科学論集(信州大学人文学部) 二二

愛知学院大学文学部紀要 一六

東北学院大学論集 一八

歴史研究(大阪教育大学歴史学研究室) 二四

山形大学史学論集 七

京都部落史研究紀要 七

徳島大学教養部紀要 二二

国際文化論集(西南学院大学) 一一二

駿台史学(明治大学駿台史学会) 六九、七〇

西洋史学報(広島大学西洋史学研究会) 一三

紀要—史学科(中央大学文学部) 三二

經濟經營論集(龍谷大学經濟・経営学会) 二六—三・四

民族研究(北京民族研究所) 一

社会經濟史学(慶応義塾大学社会經濟史学会) 五二—六

石炭研究資料叢書(九州大学石炭研究資料センター) 八

史学論集(駒沢大学大学院史学会) 一七

鹿兒島経大論集(経済学部学会) 二七一

四

岡崎市史研究 九

三浦古文化 四〇

立命館産業社会論集 二二—四

札幌大学女子短期大学部紀要 九

海事史研究(日本海事史学会) 四四

研究年報(東洋大学アジア・アフリカ文化研究所) 二一

奈良国立文化財研究年報 一九八六

日本文化研究所研究報告(東北大学日本文化研究所) 別巻第二四集

三康文化研究所年報 一八

歴史研究(大阪府立大学) 二五

歴史教育論集(慶北大学校師範大学歴史教育科) 八・九

東洋文献類目(京都大学人文科学研究所) 一九八四年度

史学研究集録(国学院大学日本史学専攻大

- 学院会 一二
米沢史学（山形県立米沢女子短大米沢史学会） 三
慶大史論（慶南大学校史学会） 三
社会科学論叢（長崎大学教育学部） 三六
八幡大学論叢（八幡大学法経学会） 三七
—四—
韓国史研究叢報（ソウル特別市國史編纂委員会） 五五
研究紀要（尾道短期大学） 三六
信濃（信濃史学会） 三九—四
神道学（出雲大社内神道学会） 一三三
茨木大学人文学部紀要（社会学部） 二〇
人文学科論集（茨木大学） 二〇
皇学館大学紀要 二五
史友（青山学院大学史学会） 一九
人文論叢（福岡大学総合研究所） 一八一—四
正倉院年報 九
日本常民文化紀要（成城大学大学院文学研究科） 一三
日本文化史研究（帝塚山短大日本文化史学会） 八
横須賀市博物館研究報告（横須賀市人文博物館） 三〇

社会学年誌（早稲田大学社会学会） 二八
東洋文化（東京大学東洋文化研究所） 六

七

龍谷史壇（龍谷大学史学会） 八九

東北大学文学部研究年報 三六

同朋大学論叢（同朋大学同朋学会） 五五

『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです。

◇資格 本会会員であること。

◇投稿受付原稿の種類、長さ

○論説 四〇〇字詰八〇枚以内

○研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内

○研究動向 四〇〇字詰五〇枚以内

○書評 四〇〇字詰二〇枚以内

○紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「英文要約」を添付のこと。

◇研究ノート・研究動向・書評には、「欧文タイトル」のみ添付のこと。

◇注は各章末に入れること。

送り先

史林編集委員会

〒六〇六 京都市左京区吉田本町

京都市文学部内

京都市文学部内

編集後記

七一巻五号は難産でした。五月以来、三度目の編集委員会であろうやく成立を見た次第です。刊行の遅れはひとえに編集委員会の責任ですが、投稿が減少しても審査の水準は下げずに誌面の質を守っているためと御理解いただければ幸いです。この審査というのなかなか難しい問題で、編集委員の役割とは何か悩むこともしばしばですが、採否・修正希望などの決定は慎重な審議を経た上で出しており、まずは「岡目八目」の正しさを信じていただいてよいのではないかと思います。会員諸兄姉の積極的な御投稿をお待ちしております。（二）

一九八八年八月二五日印刷 定価一〇〇〇円
一九八八年九月一日発行 送料五〇円

史林 第七一卷第五号（通巻第三四九号）

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部

発行人 史学研究会

理事長 藤縄謙三
振替京都部七一一五五番

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区七条御所ノ内中町五〇

史学研究会大会・総会のお知らせ

左記のごとく、本年度の史学研究会大会および総会を開催いたしますので、多数御出席下さい。

日時 昭和六十三年十一月二日(水)午後一時

場所 京都大学薬友会館
(市バス近衛通下車東入ル)

公開講演

旧石器時代の「住」

山中一郎

カベイラの水車と淀の水車

末尾至行

史学研究会

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXI No. 5 September 1988

CONTENTS

Articles :

- An Interpretation of the so-called
Demotionid InscriptionS. Ito (1)
- Official Control of Rice (*ping-tiao*, 平糶)
in the Early Qing 清S. Yamamoto (38)
- The Structure and Nature of the All-Kansai
Federation of Women 全関西婦人連合会Y. Fujime (71)
- L'idée coloniale du P. C. F. en 1944-1947
..... Y. Sugimoto (101)

Book Review :

- Joffroi de Villehardouin. *La conquête de Constantinople*,
Translated with annotations by Toshiki ItoS. Yatsuzuka (136)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386—9369